

福祉部の使命・役割を教えてください！



- 福祉部は、地域福祉グループ（8人）、介護保険・障がいグループ（10人）、福祉まるごと相談グループ（10人）、生涯現役まちづくりグループ（3人）、保健福祉グループ（14人）の5グループで構成し、「地域福祉に関すること」「生活困窮者の自立支援に関すること」「介護保険に関すること」「障害者福祉・母子福祉に関すること」「福祉に関する相談及び支援の総合調整に関すること」「生涯現役のまちづくりに関すること」「認知症予防に関すること」「健康増進に関すること」「母子保健に関すること」「子どもの発達に関すること」「予防接種に関すること」などに取り組んでいます。



福祉部長 加藤一志

- 福祉部は、市民のみなさまの「ふだんのくらしをシェアする」ためのお手伝いをします。子どもの健やかな成長、そして、生涯にわたる生活の安定と福祉の向上をめざし、全ての世代の健康増進を図るとともに、高齢になっても、障がいがあっても尊厳を持って暮らし続けられるよう応援します。

どのような姿勢で課題に取り組んでいこうと考えていますか？



- 社会福祉協議会が「地域共生型福祉施設あっぱ」を開設し、地域の中に新たな社会資源が加わりました。地域の方に関わっていただき、事業も充実してきました。将来的には、誰もが安心して住み続けられる地域の支え合い体制が求められます。
- 市では、新たに生活支援コーディネーターを配置しました。地域共生社会の実現に向け、地域資源や地域課題の把握から取り組んでいきます。

市民の皆さんへ、一言メッセージを！



高齢者を始めとした福祉のワンストップ拠点としてスタートした「いきいき広場」も乳幼児健診や「こども発達センター」の開設、学習等支援事業「ステップ」や「あすたか」の実施など、子どもたちの声も多く聞かれるようになりました。庁舎の新築に合わせ、こども未来部と教育委員会も移ってきました。今後は、いきいき広場が全世代・全対象型の相談支援の拠点として機能するよう進めてまいります。

編集・発行

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 29 年 5 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度

高浜市では、こんなことに力を入れて取り組めます！

福祉部長の 実行宣言！



- 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。
- まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意について、部局ごとに紹介します。



平成29年度 福祉部では、こんなことに力を入れて取り組みます！

アクション 1 地域包括ケアシステムを構築するための計画づくりを行います！

【担当 介護保険・障がいグループ】

高齢者が、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるための仕組み（地域包括ケアシステム）が求められています。団塊の世代が75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向け、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化、推進していくための「地域包括ケア計画」を作ります。

具体的には…

- ◇ 現行計画を評価、検証します。また、現状把握、将来推計を行い、今後の取り組みや保険料などについて検討します。
11月までに実施
- ◇ 市民説明会やパブリックコメントをとおして、市民の方からの意見を募ります。
平成30年1月までに実施
- ◇ 第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を策定します。
平成30年3月までに実施



▲現在の第6期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画

アクション 2 医療と介護の連携を推進します！

【担当 福祉まるごと相談グループ】

在宅で安心して暮らし続けることができるよう、医療と福祉関係者など多職種が連携して支える体制づくりが必要です。

新たにICTを活用した関係者間のネットワーク環境を構築し、医療と介護の連携強化を図ります。

具体的には…

- ◇ 課題解決に向けた方策や情報共有を図るための連携協議会を開催し、ICTツール導入に向け検討を行います。
5月までに実施
- ◇ ICT導入により医療と介護の連携を進め、多職種による情報共有の仕組みを作ります。
10月までに実施
- ◇ 互いの役割や連携に対する手法について、研修会を通じて学び、顔の見える関係づくりを進めます。
平成30年3月までに実施



アクション 3 生涯現役のまちづくりを進めます！

【担当 生涯現役まちづくりグループ】

自宅への閉じこもりは、認知症の発症や要介護状態に陥るリスクが急速に高まります。外出して地域の皆さんと交流し、健康に生活するため、ホコタッチを上手に活用しながら、健康自生地へ出かけて、さまざまな活動に参加したくなる仕組みづくりを行います。

具体的には…

- ◇ 情報誌「でいでーる」で小学校区ごとに健康自生地を巡るモデルコースを紹介します。
12月までに実施
- ◇ 担い手や利用者からのアンケートをもとに、健康自生地の魅力を向上させ、活性化を図ります。
平成30年3月までに実施

第6次高浜市総合計画 平成29年度版アクションプラン No.44 「生涯現役のまちづくり事業」



▲活動量計とホコタッチ



アクション 4 妊娠期からの切れ目のない支援を行います！

【担当 保健福祉グループ】

核家族化などにより、育児に不安や負担を感じる妊産婦さんが増えています。身近な場所でママの思いに寄り添い、ママやその家族を応援する人が必要です。

いきいき広場は、妊娠期から子育て期におけるワンストップ拠点として、子育て家庭を応援します。

具体的には…

- ◇ 産後健診のストレスチェック項目を活用し、出産を終えたママの心身の健康を支援します。
4月までに実施
- ◇ 乳幼児健診のアンケートに質問項目を追加し、「切れ目のない支援」体制を推進します。
平成30年3月までに実施

